

※各科目ごと（自由選択は教科ごと）に、2行程度で簡潔にまとめてください。
この文章は保護者・評議員等に公開されます。

教科	学年科目	集計結果の分析	後期に向けての課題	生徒からのメッセージ
国語	1 国語総合	概ね良好である。授業の工夫の数値が高かったことから、日頃から様々な工夫を行った成果が出たといえる。	授業の工夫については引き続き行っていき、さらにきめ細やかな授業を展開する。	
	2 現代文B	概ね良好であるが、生徒の理解度に合わせた、きめ細かい授業とは必ずしもいえなかった。	授業で行っていることが理解できるように、生徒に目標を示したり、確認したりする。	
	2 古典A	概ね良好であるが、生徒の理解度に合わせた、きめ細かい授業とは必ずしもいえなかった。	生徒の理解度に合わせた目標を設定し、理解度を確認する。	
	2 古典理解	概ね良好な評価を受けた。しかし、「生徒の理解度に合わせた授業」について、数値が多少低かった。	生徒の理解度を問答、リアクションペーパーなどにより把握する機会を増やし、より生徒に寄り添った授業を展開する。	
	3 現代文B	概ね良好であるが、生徒の理解度やニーズに合わせたきめ細やかさや分かりやすさに十分に配慮した授業とは必ずしもいえなかった。	進路の決定した生徒と一般受験をする生徒との学習活動のバランスを考える。	
	3 古典B	概ね良好であるが、科目の性質上、生徒の自主的な学習活動に結びつく学習ができたとはいえなかった。	進路の決定した生徒と一般受験をする生徒の両方に配慮した学習内容を考え、両方が充実した授業を受けられるようにする。	
地歴公民	1 地理A	板書や図説、モニターを用いた説明には分かりやすいという意見が多くみられた。一方で生徒による発表活動に関しては改善の余地がある。	生徒自身に調べさせたり、発表させたりという活動を取り入れながら、評価が良かった分かりやすい説明もこのまま行っていく。	
	1 現代社会	授業プリントの工夫や説明方法に関して良いという意見が多かった。一方で生徒の主体的な活動という点では、改善できる点があると考える。	今後も教授方法を工夫し続け、より理解しやすくするとともに、生徒自身の発言や発表を盛り込むようにする。	
	2 世界史A	プリントを使った授業が分かりやすく、また説明が丁寧との生徒の声があった。一方説明が早口になり、聞き取りづらいとの指摘もあった。	今後もプリントの内容を工夫して、より理解しやすくするとともに、生徒が聞き取りやすい説明になるよう配慮する。	
	2 日本史B	分かりやすい授業、丁寧な教授法に一定の支持を得られた。一方で生徒の主体的な学びの実現には課題があった。	生徒同士が発表、意見交換する場や機会を設け、生徒の主体的な学びの実現に力を入れる。	
	3 世界史B	プリントや説明に関して、分かりやすく、自分でも振り返りやすいと高評価を得た。一方で、生徒の主体的な学びへの工夫に関しては課題があった。	歴史事項の理解と事項同士の繋がりを把握させるための工夫を継続して続ける。主体的な学びに関しては方法を模索する。	
	3 地理B	少人数で毎回生徒自身が活動する機会が多く好評であった。地図やデータブックを活用した主体的な学びも増えた。	生徒が自ら調べ、活動する機会を一層増やし、視聴覚教材も効果的に活用していく。	
	3 発展日本史	授業形態(プリント学習)・理解度共に、多くの生徒からの支持が得られた。説明のわかりやすさにも言及する生徒が多かった。	生徒主体の授業の工夫に関して、ほとんど実施できなかったため、機会や方法を模索する。	
	3 世界史研究	プリントに細かい知識も盛り込み、全体像をとらえるために板書を工夫したことから分かりやすさとの声が多かった。	受験を意識する生徒と教養として歴史を学びたい生徒の間に温度差が生じるが、両者に対応できるような教材を準備する。	
	3 日本史研究	プリントなどの教材を工夫した。また、説明も比較的分かりやすいと生徒の支持を得られた。	授業の中で生徒の話し合う機会や意見交換などの主体的な学びをほとんど実現できなかった。後期は生徒が主体的に学ぶ授業展開を考えていく。	
	3 地理研究	系統的な物の見方に生徒は最初戸惑っていたが、地誌的学習と合わせて世界の眺望が見えてくると積極的な姿勢が見られた。	引き続き、統計資料を地図化するなど生徒が主体的に学習する機会を設け、さらに発展的な思考につながるディスカッション等を取り入れる。	
3 政治経済	演習に入る前の基礎学習をプリントにより効率よく進められたことは、生徒に好評であった。授業の理解度も一定の評価が得られた。	前期は主体的な学習活動の機会がなかったため、後期は演習を進める一方で発表や意見交換の場を設ける。		
数学	1 数学ⅠA	全体的に、概ね良好な評価である。中でも、授業への工夫と、そのための教材の準備が良好である。	生徒の授業に対する充実度が低い。そのため、数学の楽しさを実感できる授業が必要である。	
	2 数学Ⅱ(標準)	概ね良好で、教科書の内容の理解と基礎学力の定着を主眼に授業を行っており、生徒もよく取り組んでいる。	来年度の進路希望が確定し、数学を必要としない生徒にどのように意識を持って取り組ませるか、教材や授業展開の工夫を行っていく。	
	2 数学Ⅱ(発展)	教科書よりもややレベルの高い問題を扱っているが、数学を意欲的に学ぼうとする生徒が多いため、ほぼ全ての項目で高い評価となっている。	生徒の進路実現に向けて、基礎学力の定着のみならず、発展問題が解けるだけの応用力が身につけられるような授業を行う。	
	2 数学B	各項目概ね良好であるが、授業の充実感と生徒主体の授業の項目がやや低くなっている。	生徒が主体となる授業の進め方を検討し、達成感を感じられる授業を行う。	
	3 数学Ⅲ(α)	全体的な評価として、概ね良好である。中でも、生徒が主体的に参加する授業への工夫と、そのための教材の準備ができていた。	ICT教材を利用した更なる教材の工夫と、難易度の高い授業の中で、生徒主体の活動を行う。	
	3 数学Ⅲ(β)	概ね良好であるが、解説中心の授業展開であるため生徒主体の授業の工夫という項目の評価がやや低い。	受験に対応できるよう、引き続き多角的な解法を示していく。	
	3 必修選択(発展数学ⅠA)	各項目概ね良好であるが、難易度の高い問題を扱っているため、授業の充実感がやや低くなっている。	生徒の進路実現に向けて、問題を多角的に捉えられようように説明していく。	
	3 必修選択(発展数学ⅡB)	概ね良好であるが、生徒の主体的な活動がもう少し多いとよい。	生徒の主体的な活動を引き出す更なる工夫が必要である。	
理科	1 生物基礎	生徒は授業に対してよく取り組んでおり、授業が分かりやすいという意見が多かった。	実験に対する要望が多かったため、今後も実験を通した学習を多く取り入れていく。	
	2 物理基礎	課題や実験への取り組みに意欲的に取り組む生徒が多い。その一方で難しい課題に取り組むのが苦手な生徒もいる。	難しい課題などに対してグループワークやきめ細かい指導で、生徒が主体的に授業に取り組める授業を行う。	
	2 化学基礎	実験に対する興味関心が高く、多くの生徒が熱心に取り組んでいるが、原子やイオンなど論理的な思考が必要な分野では、取り組みに差がみられる。	実験を通して、より理解度を深めるようにする。難しい内容は授業中、週末課題を含めた演習を行い、生徒自ら取り組めるようにする。	
	3 物理+発展物理	授業に対して積極的な生徒が多い。数学の習熟度に差があるため、授業の進捗が速い、計算過程を詳しく示して欲しいという意見もあった。	生徒の希望進路により、学習意欲に差が出るが、すべての生徒が物理をきらめない授業を考える。	
	3 化学+発展化学	授業に対して積極的に取り組んでいる生徒が多い。授業内容は、理解できるが演習問題が解けない生徒がいる。	問題集等の演習問題を繰り返し解く時間を作るようにし、知識の定着を図り、応用力もつけられるようにする。	
	3 生物+発展生物	授業への取り組み状況は良い者とうそでない者の差が激しく、受け身の意識が強い。家庭学習の習慣もできていない。	課題演習や実験などで、知識の定着を図りながら、生徒が主体的に授業に取り組めるように工夫する。	
3 化学研究	授業への取り組みはよく、生徒の学習意欲は高い。復習もよく行っており、基礎的な内容が定着できている。	発展的な問題をできるだけ多く取り入れ、応用力をつけられるようにする。		
保健体育	1 体育	集団行動など規律を重んじた指導により授業を大切にしている姿勢が身についた。また、ダンス、柔道では生徒が主体的に取り組む姿勢が見られた。	集団行動とラジオリレーを実技評価として加えている。5分前解散を努力目標に掲げて概ね良好に実践できている。後期も引き続きこの規律が守られるよう生徒主体の取り組みを行っていく。	
	1 保健	授業が分かりやすい、楽しいといった意見が多かったが、一方で、授業への取り組みがうまくできていないと考える生徒もいた。	グループワークや生徒の意見を聞く場面を要所に取り入れるとともに、ICTを活用した授業を導入していく。	
	2 体育	学年進行に伴い、意欲的に授業に参加する割合が減ってきている。	後期は持久走や武道・ダンスなど、自己への挑戦を課題とする単元が多いため、より興味・関心を持てるよう工夫する。	
	2 保健	学習への取り組みや意欲は概ね良好である。	生徒が受身の授業になりがちであるので、発言の機会を設けるなど生徒が主体的に参加できる授業作りを心がける。	
	3 体育	授業準備や片付けなども含め、積極的に取り組む生徒が多く、授業を楽しんでいると回答する生徒が多かった。	授業開始時のランニングやラジオリレーが定着してきたことから、さらに発展させ生涯を通じて運動に親しむ習慣を身につけられるようにする。	
芸術	1 音楽Ⅰ	歌唱は発声、読譜、ともに良い取り組みが見られ、達成感も得られている。器楽はリコーダーについては、中学までの経験から、温度差がある。キーボードについては、関心が高く、練習に対するモチベーションも充実している。鑑賞についても、楽しみにしている。楽典・基礎事項については、理解はできているようだが、若干、ついていくことに苦労している生徒もいる。	リコーダーの演習時間を増やし、演奏に余裕が生まれるようにする。キーボード課題を工夫し、自分のスキルに応じた取り組みができるようにする。歌唱は合唱を取り入れ、仕上げに向けて歌い込むことを目指すようにする。鑑賞は引き続き、毎時間の積み重ねを大切に、鑑賞の経験を深められるように進める。	・デッサン力がついてうれしい ・描くことの楽しさが伝わってくるのが良い ・裏技を教えてください、初めて知ることが多く授業が楽しい ・歌うことが楽しいので、毎回楽しみにしている ・キーボードや器楽の練習が楽しい ・中学ではソプラノリコーダーだったので、アルトリコーダーが難しい ・だんだん楽譜が読めるようになってきた ・音楽を聴く時間が楽しかった。知らない音楽を聴けるのが良い
	1 美術Ⅰ	書き込み式のプリントを用意するなど工夫したため、生徒にとって概念がつかみやすかったと思われる。教室後方の席で説明が聞き取りづらいようなので、工夫が必要である。	作業進度に差があるため、なるべく個別に個々の問題点についてアドバイスするなど丁寧な対応を心がける。	
	2 音楽Ⅱ	表現能力は高いが基礎的な読譜能力をさらに高める必要がある。	基礎的な読譜のトレーニングを能力別に行い、読譜の力を高め、演奏表現をさらに深められるように工夫して指導する。	
3 自由選択(ソルフェージュ)	楽典の基本事項や、音楽表現に必要な事項を確実に身に付ける必要がある。	楽典の基本事項や、音楽表現に必要な事項を確実に身に付け、音楽表現全般に通じる能力をつけられる課題を工夫し指導する。		
英語	1 コミュ・英語Ⅰ	全体的に3.5前後の高い評価を得た。特に「生徒主体の授業の工夫」の評価が高かったが、グループワークやペアワークがうまく機能していると思われる。	生徒自身の「学習への取り組み」が他の評価と比べると低かった。後期に向けて予習・復習の徹底、課題などを課し、家庭学習の習慣化を促したい。	
	1 英語表現Ⅰ	各項目に3.0以上の評価を得ており、特に「説明の分かりやすさ」、「授業の準備・教材の工夫」で高い評価だった。この点は後期でも引き続き継続したい。	「授業の充実感」、「授業の進め方」において他と比べると評価が低かった。後期は様々なレベルに対応できる教材の工夫が必要である。	
	2 コミュ・英語Ⅱ	「生徒主体の授業の工夫」の評価が最も高くアクティブラーニングのある程度の成功が考えられる。しかし、「説明の分かりやすさ」にはばつぎがあるなど課題もある。	生徒主体の活動を主眼とした授業をめざすと同時に、英語を文法・語法も含めてしっかりと定着させるような学習のバランスが課題の一つである。	
	2 英語表現Ⅱ	全体的に概ね良好だが、個々を見ると評価も様々であり、生徒の学力、取り組み、理解度の差の開きを反映している。	生徒によるアウトプットの機会を増やすことと、表現力の基礎になる文法力定着のための学習とのバランスが課題である。	
	3 コミュ・英語Ⅲ	概ね良好な評価であり、「生徒主体の授業の工夫」、「説明の分かりやすさ」において満足度が高かった。	どのようにして生徒に達成感を得させられるかが課題である。	
	3 英語表現Ⅱ	全ての項目において高い評価を得ており、中でも「説明の分かりやすさ」「生徒主体の授業の工夫」は特に高い評価であった。	授業の工夫や説明の分かりやすさは後期も継続して高水準を維持したい。生徒の学習の意欲が高まるような授業を行う。	
3 発展英語(Advanced文・理系)	全体的に3.7前後の高い評価を得ており、特に「説明の分かりやすさ」、「生徒への接し方」で高い評価だった。生徒が内容を良く理解していると考えられる。	生徒がより深く学べるように、関連する内容の発展的な問題を解かせたり、ペアで内容理解を深化させるようにする。そのため、教材の工夫が必要である。		
3 発展英語(Basic文・理系)	全体的に良好な評価であった。特に、「授業・教材の工夫」、「説明の分かりやすさ」の2項目で高い評価が得られた。	入試対策の教材を使った授業であるが、後期も引き続き教材を工夫し、生徒の興味を引く授業作りを行いたい。		
家庭	1 家庭基礎	講義中心の授業形態が多く、生徒たちの関心意欲を十分に引き出せなかった。	実習を多く取り入れ、体験的に分かりやすい授業展開を心がける。	生徒同士で話す機会、ノートの提出点がほしい。もっと教科書にふれてほしい。理不尽な減点がある。
情報	3 社会と情報	概ね良好であるが、授業の充実感、生徒主体の授業の工夫の評価が低かった。	生徒が自ら考え、アウトプットしていく授業展開を工夫する。	